

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	富士あけぼの園			
○保護者評価実施期間	2024年9月9日		～	2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2024年9月9日		～	2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者を楽しい場所、毎日通いたい場所と思ってもらえていること。発語の無い利用者の保護者からの聞き取りでも来園渋りは無く、利用を快く思ってもらえている可能性が高い状態にあること	・利用者それぞれにスモールステップを用意し、取り組みに対して達成感も得られやすいよう準備している ・自由時間の中で好きなことが出来ていて、トラブルがあっても職員が介し悲しい気持ちで終わることが無いよう取り組んでいる ・活動プログラムは種類をバランスよく配置し飽きることの無いようにしている	・利用者それぞれの課題の把握をより丁寧に確認し、挑戦したい気持ちへと導くこと ・気持ちの確認を行い悩みや不安があれば確認し、解決に向けて動くこと
2	職員の中には心理の専門職員や教員資格、保育士資格、栄養士と幅広い資格を持たれた方が多く、その中には放課後等デイサービスの経験が長い方も多いこと	・職員の専門知識を活かした支援が叶うよう常に職員間で打ち合わせを行っている	・利用者満足度、保護者満足度がより高まるよう、研修や実施の場を持って全職員の支援力または知識力を向上させていくこと
3	施設が大きく、庭があること。公園まで歩いていくことが出来て、車通りもなく安全であること	・気持ちの切り替えやクールダウンなどで場面を切り替える際に有効に施設の広さを活用出来ている	・庭に蜂や蛇が現れにくいよう雑木を刈る、蛙が卵を産まないよう整備をより丁寧にすること

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の老朽化が顕著なこと。安全な環境設定に不安があること	・雨漏りが3カ所あることやトイレの配管の形状や状態による詰まりやすさ、一部電気の暗い場所があること	・利用者のストレスが無いよう配慮し、トイレに関してはストレスのある利用者は施設外すぐの公共のトイレを使用している ・故障や不備にはすぐに気付けるよう確認し、緊急性があれば速やかに対処している ・施設の高さを逆手にとって掃除やリノベーションなどの有意義な活動を行っている
2	地域に開かれた事業運営	・利用者の中には課題として身辺の自立や、他者との適切な距離感や関わり方を学ぶ必要のある子が多く、室内で完結させてしまう方が都合が良い場合が多いこと	・直近だと老人ホームに活動で手作りしたメッセージカードをプレゼントとして渡しに行った。来月は地域のごみ拾いを行いながらの散策を予定している。このような活動の頻度を上げて、認知度の向上や社会性を育む支援を行っていく
3	・利用者の情報や支援の方向性を決めていく会議が、なされているが時間が足らずに、一部非常勤の職員に共有不足が起きてしまうことがある ・会議が問題なく出来ていると感じている職員と、不足を感じる職員とに分かれ、理解に乖離がある	・日々の支援前会議で話すべき内容が常に多くあること ・上記内容の記録を取り、当日出勤ではない職員にも共有を図るが、記録が完全ではなく文字では伝わり切れていない可能性があること	・情報発信者は内容を事前にまとめ、限りある時間を有効に活用していくこと ・情報収集者は話し合う前に目的を相手職員に明確に伝え、共通理解を持つこと